

救 急 部

A 欧 文

A-b

1. Kaneko H, Hatanaka T, Nagase A, Noguchi H, Nagatani A, Marukawa S: How rapidly can people find an AED? Circulation 116(Suppl 16): II-940, 2007

B 邦 文

B-b

1. 山下和範, 澄川耕二: ケース別 救急診療のための緊急麻酔法-安全に! 確実に! -35. 気道異物 救急・集中治療 19 (11, 12): 1482-1485, 2007

B-c

1. 長谷敦子: 麻酔事故. 悪性高熱. (今日の治療指針2007, 医学書院, 東京, p. 60所収)2007
2. 長谷敦子: 科学生物剤と麻酔科医の役割. (武田純三監修: ミラー麻酔科学(訳), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, 64: pp. 1935-1955所収)2007
3. 長谷敦子: 気管挿管以外の気道確保. (坂本哲也(編): 「救急蘇生ガイドライン」課題と展望, 救急医学9, へるす出版, 東京, pp. 1027-1030所収)2007

B-d

1. 浅利 靖, 丸川征四郎, 坂本哲也, 畑中哲生, 清水直樹, 平出 敦, 輿水健治, 長谷敦子, 今 明秀, 吉田竜介, 小菅宇之: 市民のAED使用事例に関わる情報の活用と事後検証のあり方に関する研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007
2. 清水直樹, 柳井真知, 長谷敦子, 山野上敬夫, 谷川功一, 松平宗典: 小児AEDの効果的な普及法にかかわる研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007
3. 谷川功一, 伊藤 靖, 近藤久禎, 坂本哲也, 清水直樹, 長谷敦子, 畑中哲生, 松本 尚, 吉田竜介, 丸川征四郎: 日本版救急蘇生ガイドラインに基づき救急救命士等が行う救急業務活動に関する研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007
4. 長谷敦子, 坂本哲也, 畑中哲生, 清水直樹, 丸川征四郎: 学童・学生・一般成人を対象としたAED啓発アニメーションの作製と教育効果の検討 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007
5. 畑中哲生, 長瀬亜岐, 野口普子, 金子 洋, 清水直樹, 長谷敦子, 坂本哲也, 丸川征四郎: 公共施設におけるAEDの効果的な設置・表示のあり方に関する研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007
6. 丸川征四郎, 坂本哲也, 長谷敦子, 吉永和正: 医系大学生のAEDを含む救急蘇生教育のあり方と普及法についての研究 平成18年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 自動対外除細動器AEDを用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究(課題番号H18-心筋-01)分担研究成果報告, 2007

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2007	0	1	0	0	1	0	0	1	3	6	10	11

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2007	0	0	1	1	0	0	10	10	11

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
	論文総数		欧文論文総数	
2007	0.091	0.333	0	0

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2007	0	0	0